

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	20%臭化ナトリウム (Sodium bromide)
製品別整理番号	MKC-700-01
製品番号	MKC-NB-020
会社名	株式会社エム・ケイ・ケミカル
住所	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1丁目1番1号
担当部門	生産管理部品質管理グループ
電話番号	0968-53-2881
緊急時の電話番号	092-713-1886
FAX番号	0968-53-2882
メールアドレス	
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用・医薬品製造

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

分類実施日 政府向け GHS 分類ガイダンス(2020.4 版)を使用

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康有害性	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	分類できない

	急性毒性(吸入：ガス)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入：粉じん)	分類できない
	急性毒性(吸入：ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

—

注意喚起語

## 警告

危険有害性情報

・飲み込むと有害のおそれ

注意書き

〔安全対策〕

- ・ミスト/蒸気を吸入しないこと。
- ・取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面等を着用すること。

〔応急措置〕

- ・眼に入った場合は水で15分以上洗顔し。刺激が強い場合は医師の診察を受ける
- ・飲み込んだ場合や吸入した場合は水で口をすすぎ、速やかに医師の診察を受ける。
- ・皮膚に付着した場合は衣類や靴を脱がせる。触れたところは大量の水で洗い流し、医師の診察を受ける。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

- 〔保 管〕
  - ・漏出物を回収すること。
  - ・直射日光を避け、適切な換気のある場所に保管する。
  - ・耐腐食性または耐腐食性内張りのある耐腐食性容器に保管すること。
- 〔廃 棄〕
  - ・内容物/容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物  
 化学名又は一般名 臭化ナトリウム  
 別名 臭化ソーダ

成分名	臭化ナトリウム	水
化学式	NaBr	H <sub>2</sub> O
CAS 番号	7647-15-6	7732-18-5
含有量	>=20%	<=80%
官報公示整理番号	化審法	—
	安衛法	—

### 4. 応急措置

- 吸入した場合
- ・被災者を新鮮な空気のところへ移す。
  - 呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。
  - 呼吸が不規則であったりまとったりした場合は、人工呼吸を行う。
  - 呼吸が困難な場合には酸素吸入を行う。
  - 患者を暖かく安静にしておく。
  - 直ちに医師に診察/手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合
- ・直ちに医師に診察/手当てを受けること。
  - 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
  - 直ちに石けんと多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合
- ・直ちに医師に診察/手当てを受けること。
  - 直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。
  - 洗浄中は眼を大きく開ける。
  - 多量の水で十分に、まぶたの裏まですすぐ。
  - コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
  - その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合
- ・無理に吐かせないこと。
  - 意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
  - 口を水ですすぐ。
  - 患者を暖かく安静にしておく。
  - 直ちに医師に診察/手当てを受けること。

医師に対する特別な注意事項 ・ 症状に応じた治療を行う。

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	・ 不燃性。周辺の火災状況に対応する消火剤を使用。
使ってはならない消火剤	・ 不燃性。周辺の火災状況により判断する。
火災時の特有危険有害性	・ 高温により昇華及び分解して有毒ガスが発生する。
有害燃焼生成物	・ 臭化水素
特有の消化方法	・ 周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。 移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	・ 消火作業の際は、状況に応じた保護具(自給式呼吸器、防火服、防災面など)を必ず着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目 7 および 8 に記載した保護措置を参照する。</li> <li>・ 適切な保護具を着用すること。</li> <li>・ 汚染区域に標識を立て、許可のない人が近づかないようにする。</li> <li>・ こぼれやもれが起きている場所から、風上に避難させる。</li> <li>・ 人々を即時に安全な場所に避難させる。</li> <li>・ 有害性を知らせる。</li> <li>・ 周辺への影響が懸念される場合は、本物質の漏洩による影響を周辺の住民へ通知する等の適切な対応をとる。</li> </ul>
環境に対する注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漏出物を直接、河川や排水施設に流してはならない。</li> <li>・ 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。</li> <li>・ 周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行う。</li> </ul>
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収して密閉できる空容器に回収する。</li> <li>・ 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。</li> </ul>
二次災害の防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に対処できるならば漏洩を止めること。</li> <li>・ 物質が排水溝ないし水路へ侵入しないようにする。</li> </ul>

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</li> <li>・ 通気の良い場所で使用すること。</li> <li>・ 熱、火花、炎から離しておく。</li> </ul>
-------	---

安全取扱注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</li> <li>・漏れ、あふれ、飛散を防ぎ、みだりに蒸気を発散させない。</li> <li>・容器は転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の取扱いをしてはならない。</li> <li>・吸入、摂取および皮膚と眼への接触を避ける。</li> <li>・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</li> </ul>
接触回避	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「10. 安全性及び反応性」を参照。</li> </ul>
衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱い後は手をよく洗うこと。</li> </ul>
保管	
安全な保管条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管場所は直射日光を避け、適当な換気のある場所に貯蔵する。</li> </ul>
安全な容器包装材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス、ポリエチレン等</li> </ul>

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度：未設定

設備対策

- ・作業場所の周辺に洗眼器および安全シャワーを設けること。
- ・密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用しなければ取扱ってはならない

保護具

呼吸用保護具	・防毒マスク
手の保護具	・保護手袋
眼、顔面の保護具	・保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	・保護服、安全帽、保護長靴、

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：液体
色	：無色
臭い	：刺激臭
融点/凝固点	：755°C(固体)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	：1,390°C(固体)
可燃性	：可燃性なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：爆発性なし
引火点	：不燃性
自然発火点	：不燃性
分解温度	：データなし
pH	：5～8
動粘性率	：データなし
溶解度	：94.6g/100g(25°C)
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	：データなし

蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.172(29°C)
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 1 0. 安定性及び反応性

反応性	・ 自己反応性はない。
化学的安定性	・ 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	・ 特別な反応性は報告されていない。
避けるべき条件	・ 高温、日光、湿気
混触危険物質	・ 強酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物	・ 臭化水素、臭素

## 1 1. 有害性情報

急性毒性	: ラット 経口 LD <sub>50</sub> 3,500mg/kg
経口	マウス 経口 LD <sub>50</sub> 7,500mg/kg
	ラット 皮下 LD <sub>50</sub> 2,900mg/kg
	マウス 皮下 LD <sub>50</sub> 5,020mg/kg
経皮	: ウサギ 経皮 刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ 経皮 わずかな刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 皮膚感作性試験 モルモット 感作性なし
生殖細胞変異原性	: <i>In vivo</i> の試験は
	サルモネラ菌を用いる復帰突然変異試験 「陰性」
	ヒトリンパ球を用いる染色体異常試験 「陰性」
	ヒト培養上皮細胞を用いる不定期 DNA 合成試験 「陰性」
発がん性	: データなし
生殖毒性	: 胃管強制投与 ラット NOEL(母体) 100mg/kg
	NOEL(発生毒性) 100mg/kg
	1000mg/kg/day で胎児への影響が母体毒性の前に観察されている。
	経口 ラット NOAEL (親) 300ppm
	(F1.F2) 1,200ppm
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 経口 ラット NOEL 15mg/kg
誤えん有害性	: データなし

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 魚類 ヒメダカ LC <sub>50</sub> 24,000mg/L/96hr
------	--

	フットヘッド ミノ	LC <sub>50</sub>	16,479mg/L/96hr
	グッピー	LC <sub>50</sub>	16,000mg/L/96hr
	グッピー	EC <sub>50</sub>	43mg/L/28day
1	甲殻類 オオミジンコ	LC <sub>50</sub>	>1,000ppm/48hr
	甲殻類 オオミジンコ	EC <sub>50</sub>	27mg/L/21day
	藻類 セネデスマス	EC <sub>50</sub>	5,800mg/L/24hr

残留性/分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

### 1.3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
 残余廃棄物

- ・ 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
- ・ 廃棄処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。

汚染容器及び包装

- ・ 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去すること。
- ・ 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

### 1.4. 輸送上の注意

国際規制

航空輸送(IATA-DGR)

国連分類 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない。

海上輸送(IMDG-Code)

国連分類 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない。

国内規制

陸上輸送 : 道路交通法等の規定に従う。

海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。

航空輸送 : 航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
- ・ 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

### 1.5. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
消防法	: 非該当
土壌汚染対策法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 非該当
海洋汚泥防止法	: 施行令別表第1有害液体 (Y類物質)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 非該当
航空法	: 非該当
輸出貿易管理令	: 非該当

---

## 1 6. その他の情報

安全上重要であるがこれまでの項目名に直接関連しない情報  
引用文献

- 1) NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構
- 2) IATA 危険物規則書 I
- 3) RTECS：Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
- 4) 中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報
- 5) 有機合成化学辞典(社)有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
- 6) 化学大辞典 共立出版

本安全データシートは、JIS Z 7252(2019)に準拠してGHS分類を行い、JIS Z 7253(2019)に従って、作成しております。

記載内容は、作成時または改訂時において入手できる資料、情報に基づき、当該製品の取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたものです。記載されている情報は情報提供であり、いかなる保証をするものではありません。

記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。